

## 【当日の様子①】

### 動物園で考えよう！～生きものが絶滅しない地球環境とは～

- ・ 目的：池田動物園をフィールドに、「共存、共生」をテーマとして人と動物が共に生きていくには、どういう問題があり、どう乗り越えていかないといけないかを考え、実践していける人づくりを目指して実施した。
- ・ 日時：平成 28 年 2 月 6 日（土）13:00～16:30（受付：12:30 開始）
- ・ 集合場所：岡山県生涯学習センター大研修室
- ・ プログラム実施場所：同上、池田動物園
- ・ 参加者：33 名（子ども 21 名）

#### 【タイムスケジュールと内容】

12:30 受付開始

#### 13:00 開会、挨拶

- ・ 池田満之氏（岡山ユネスコ協会 副会長）
- ・ 築島明氏（環境省中国四国地方環境事務所 所長）

#### オリエンテーション

- ・ 池田満之氏
- ・ 赤迫良一氏（池田動物園 総務部長）



池田氏によるオリエンテーションの様子

#### 13:30 池田動物園でのフィールドワーク

①参加者全員で記念撮影（インドゾウの前で。撮影者は読売記者藤井氏）



②赤迫氏の解説、参加者からの質問に随時答える形で進行

#### ・インドゾウ

メリー51 オメス、象牙の話、人間が装飾品や印鑑などに加工して使う。牙の大きなアフリカゾウがより狙われやすい。密漁はもちろんいけないことだが危険を冒して象牙を採って売らなければ生活できない事情も現地の人にはある。ゾウやその生息域を守るためには現地の人たちの生活環境も改善されなければならないのではないかな。

#### ・エゾヒグマ、ベンガルトラ

開発等により生息域が減少している。

#### ・ホワイトライオン

木下大サーカスから預かっている。自然界では弱い存在なのでもともと数が少ない上に人間の行動（ハンティング、生息域の減少等）によってさらに減少している。

#### ・エリマキキツネザル

マダガスカルで独自の進化を遂げた原猿。

#### ・ツキノワグマ

中国地方にも生息。ドングリが主食（ほとんどのクマは草食性）。生息範囲が里山も含むため人間と鉢合わせる場合がある。

#### ・ブチハイエナ

ライオンと同じ生息域で群れで生活。狩りでは食べるだけしか獲らない。ライオン等も同じだが動物は食べる以上の量は無駄に殺さない（人間は無駄が多い…）。

#### ・ジェフロイクモザル

物を掴むために親指を退化させた。



#### ・ライオン

オスのたてがみは大きく黒いほど立派なオスとみられる（＝ホワイトライオンは弱くみられるらしい）。寿命は 20 年ほどで、5 年で大人になる。オスが縄張りを守りメスが仕事（狩）をおこなう。昔は新しい展示用のライオンは野生のものをアフリカで捕獲して連れてきていたが、今は動物園で繁殖したものしか流通しない＝野生の数が少なくなっている。

#### ・ホンシュウシカ

日本固有種。群れで山で生活。増えすぎる（草木を食べつくす）と生態系に影響。山の斜面を利用したシカ本来の生態を観察しやすい展示となっていた。



- ・レッサーパンダ

「パンダ（語源はポンヤ＝笹を食べるもの）」という名称の元祖。後に発見されたジャイアントパンダと区別するためレッサー（小さい）と名付けた。新鮮な笹しか食べないのでエサの調達が大変（ひとつの種類の食べ物しか食べないのは種の維持を考えると危険なこと）。池田動物園ではモウソウダケを好む。野生でおおよそ 5500 頭（開発による生息環境の減少）しかいないが日本の動物園には 200 頭がいる。木登りが得意で決して落ちない（展示も檻の外にはみ出すような形をしていたり観覧者が生態を観察しやすい工夫がされている）。

- ・シマウマ、ダチョウ

- ・バッファロー

アメリカ先住民にとってバッファローは文化の一部、しかし入植者がハンティングなどで狩ってしまい数が激減、先住民の数も減ってしまった。今は米政府が関わり保護と繁殖をおこなっている。

- ・ウシ（ジャージー）

- ・キョン

小型のシカ。最近日本で増えて害獣騒ぎを起こしている。

- ・アメリカバク

- ・ベニコンゴウ、アオカシライコ、フクロウ

- ・フラミンゴ

- ・チンパンジー

人の遺伝子と 9 割ほど一致するとか。群れの社会性が強く挨拶をして仲間を認識する（しないとよそ者扱いされる）。

- ・ペンギン

- ・アミメキリン

首は長い骨の数は他のほ乳類と同様 7 つ。他の生きものが届かない木の高い位置の葉を長い舌で巻き取きつきこそぎ取って食べる。



自由時間

15:20 池田動物園での行程を終了

15:30 ふりかえりのワークショップ（岡山県生涯学習センター大研修室）

池田満之氏（進行）

赤迫良一氏（ゲスト解説）

- ・3つの班に分かれて、動物園での見学で感じたこと・気が付いたこと・知ったことなどをざっくりと模造紙に書き込んだ。

- ・書き込んだことを発表した。

- ・自分たちにはなにができるか考える。考えたことを模造紙にまとめて発表した。

16:00 全体発表

- ・班ごとに話し合ったことの発表を行った。



赤迫良一氏「ライオンなどの強い動物でも人間の行動によって数が減ってしまう。しかし保護するといっても数を繁殖させて増やすだけでは、本当の意味での動物を保護にはならない。

「鹿が山を枯らすというけれど、根こそぎ食べてしまうほど食料が乏しかったり事情は様々、人が手を入れて鹿の生態系を守れる方法はあるのではないか」

- ・池田満之氏（まとめ）

- ・知ること

- ・意識を持つこと

- ・自分のこととして考えること

↓

行動する

例) 知らない人に知らせる。体験したことを周りに伝える。Etc

赤迫良一氏「自分の出来る範囲で一人一人が行動していけば、やがてそれは 70 億倍の力になり動物や地域を守ることにつながる」(ESD 的に)

16:30 終了、参加者解散、会場片づけ

## 【参加者ふりかえりシートのまとめ】

### 子どもの感想

#### (1) 参加しての感想

- ・自分の知っている動物なども数が少ないということを知れて勉強になったし、自分の知らない動物の生活を知れて良かったと思った。
- ・人間の好き勝手に密漁にされたりしている動物はとても可哀そうだと思った。動物を大切にしていきたい。
- ・今まではESDが何のことかよく分からなかったけれど、今日参加して分かったので、参加して良かった。
- ・こんなイベントがあったら参加したいです。楽しかったです。
- ・動物は自分が思っていたイメージと違った。
- ・驚いたことがたくさんあった。もう少し回りたかった。
- ・たくさんの動物のことが知れて良かった。
- ・非常に勉強になりました。僕の知らない知識もあつたしおもしろい話もあつた。
- ・動物たちは人間によって絶滅に追い込まれていたので可哀そうだと思った。
- ・動物の現状はイメージとはかけ離れている。自然・動物を通して自分たちがしなければならないことは考えれば色々あつた。
- ・生きものが絶滅しない地球環境にするためのことについて考えるきっかけになって良かった。
- ・ひよこがきゅうに動いて足が手に当たっていたかった。動物が沢山見られてよかった。
- ・しまうまさんがうんちを山にしていた。きのう絵本で見ていたから本当に山でするんだなあ。見れてよかった。

#### (2) 生き物が絶滅しない地球環境にするために何が大事か？

- ・自分の飼っているペットなども捨てるのと周りの動物や自然にも影響が出るから、捨てることも大切だと思った。
- ・無駄な物を買わない、二酸化炭素をなるべく出さない、資源を無駄に使わない。→人に伝えて広げていく。
- ・環境づくりが大事。自然を守る・ポイ捨てしないなど。
- ・生きものが安心して暮らせる環境づくり。
- ・やはり森林を守ることが大切。
- ・生きものの住みかを奪わない。
- ・動物を捕まえて売ることでは生活していけない人たちに安全に豊かに暮らせる方法を教えること。
- ・密漁や乱獲など自分たちの勝手に動物たちを殺したりしないようにするのが大事。

- ・一つの動物を守る時、他の動物の事も考える。
- ・自然を守ること。
- ・まずは、その生きものについて知り、何をしなければならないのかを考えること。そして、動物は植物を通して生きています。植物も大切にしていきたいこと。
- ・一人一人が生きもののかを考意識して生活していくことが大事だと思いました。
- ・動物さんが食べる木の実とか山が大切だから汚さない。

#### (3) (2) のために何をするか？

- ・身近にある環境を大切に、守るためにリサイクルなどしたい。
- ・いらぬ物は買わない。
- ・まだ使える物は再利用する。
- ・ポイ捨てしない。
- ・ゴミを分別する。
- ・今日知った事を伝えていきたい。
- ・ポイ捨てしない。ボランティア活動に参加すること。
- ・ゴミを分別して出す・いらぬ物は買わない→意識する。
- ・必要ない物はもらわずに、ゴミを減らすこと。
- ・紙のリサイクル。
- ・森林を大切に。
- ・「森林を守ろう！」とポスターを書いたりしてみる。今日教えてもらったことをいろいろな人に呼び掛ける。
- ・節電・むやみに動物を殺さない・むやみに木を切らない・在来種の存在を脅かす外来種を連れ込まない・むやみに品種改良をしない。
- ・5Rを実践してごみを減らす。
- ・ごみを勝手に山に捨てない。
- ・川や自然を大切にしたり、生きものを殺すのじゃなくて逃がしてあげる。
- ・身近な植物も大切にしていきたい(?)。また、温暖化対策も必要だと、節水、節電など。近年減っているものが多いのは温暖化のせいでもあるらしい。
- ・洗剤は詰め替え用を買う等、ゴミを減らす。
- ・わりばしを使う時は森林を守るために、古くなったり、木を整えたときに出る枝などで作られたわりばしを使う。
- ・エコバックを使用。こまめに節電。必要な物だけ買う。などの身近なことから行う。

#### (4) その他、気付き・思ったこと・気になったこと

- ・いろんな人とグループで話し合っ、自分が思わなかったことや他の人の意見を聞いてより自分が何をすればいいのか、よく理解できたので、今回参加して良かったと思った。

- ・人間のやる事が動物を絶滅させることになるとは思ってなかった。
- ・自然を大切にすることで動物を守れる。
- ・レッサーパンダの方がジャイアントパンダより早く見つかった。
- ・熊はどんぐりを食べていて肉食じゃなかったこと。
- ・インド象は1日に60kgのフンを出す。
- ・ライオンはたてがみが立派で黒い方が強い。
- ・ハイエナはオスよりメスの方が強い。
- ・一つの動物を守る時、他の動植物の事も考える。
- ・動物たちは私たち人間のせいで絶滅していたから、これからは資源を守ろうと思った。
- ・いろんな人の話を聞いて自分の考えが広げられたから良かった。
- ・熊がどんぐりを食べて肉食じゃないといっていたけど魚を食べる熊は肉食なのか？
- ・ライオンは5歳で成人する・インド象は1日に60kgのふんをする。
- ・近年減っている草食動物（ライオンの餌など）はどれくらい種類がある？
- ・もう少し動物園内での自由時間が長ければ良かった。

## 大人の感想

### (1) 参加しての感想

- ・新しい発見がたくさんありました。
- ・生きものが絶滅しないためにどうすればよいのかを考えることが出来て良かった。
- ・動物園の動物という、自分と繋がりのないものだというイメージがあったが、経済活動などで間接的につながっている（ということがわかった）。
- ・動物の生態の話聞いて良かった。
- ・子どもたちが考えている事に感心しました。
- ・家族で来ると単なる動物の見物になってしまうが、今日はガイドさんの話を身近で聞いて、いろいろ勉強になりました。
- ・池田動物園で「動物」を見るのではなく、その奥にある「命」を見れて良かった。
- ・動物や自然に興味を持つことができました。

### (2) 生き物が絶滅しない地球環境にするために何が大事か？

- ・地球・宇宙のバランスをとるため、人が無茶をしないこと、仲良くすること。
- ・色々なことを知り、生き物が絶滅しないために何かをしようと考え、行動し、他人と共有することが大事だと思います。一人ではなく、皆で考えることが大切だと思います。
- ・動物は人間の経済活動力、消費活動によって狩られる数や種類が変わる。買い物の際に何を選ぶかが大事。
- ・自然のリズムを乱すような事（物）を出来るだけしない。投棄しない。生物の乱獲、殺傷を行わない。

- ・広く知ってもらおうこと。
- ・外来種の植物や生き物を自分の都合で野に放したりしない。生態系を守る。
- ・人間一人一人の意識が大切。
- ・バランス感覚。
- ・本当の自然界の様子を知る事。
- ・無駄な物を買わない。ゴミの分別。リサイクル。買い物袋を貰わない（エコバックはいつも二つ持ち歩いています）。

### (3) (2) のために何をするか？

- ・「ささ、しか食べないレッサーパンダを見習って、ささやかな生活をしていこうと思いました。
- ・周囲の人に伝える。
- ・動物の魅力を皆に伝える。
- ・自然に害になるような物を出来るだけ使用しない。捨てない。生物を無駄に殺さない。
- ・必要な物を必要なだけ・を心がける。
- ・山に行ったらごみを捨てない。お友達に動物園に行ってもらおうように話す。
- ・飼っているペットを責任を持って最後まで飼う。
- ・身の回りのエコ。
- ・自分にもできることを増やします。
- ・必要以上に自然物をとらない。今日のことを人に伝える。

### (4) その他、気付き・思ったこと・気になったこと

- ・環境問題について多くのことを知りたいです。そして伝えたい。
- ・フンボルトペンギンの個体数の10%が日本の動物園で飼われていることを初めて知った。個体数の保護という意味で改めて動物園の存在意義に気付いた。
- ・やはりまずはみんなが知る事。
- ・最後の話し合いは子どもメインor大人も？私たちの班は子どもメインだったので、私は発言を控えていましたが（子どもたちに考えさせたかったため）他班では大人の発言もあったようで・・・！？